

事業報告書

令和8年5月20日

石巻市（施設名 石巻市雄勝体育施設）			
法人・団体名	公益社団法人 MORIUMIUS		
代表者名	立花 貴	設立年月日	2011年5月24日
所在地	石巻市雄勝町桑浜字桑浜60		
電話番号	モリウミアス : (0225-25-6506) 雄勝体育施設 : (0225-57-3331)	FAX番号	モリウミアス : (0225-25-6506) 雄勝体育施設 : (0225-25-4198)
E-mail	モリウミアスメールアドレス (info@moriumius.jp) 雄勝体育施設メールアドレス (info@ogatsu-paddlesports.com)		

現在運営している 類似施設	所在地	主な業務内容	管理運営期間
MORIUMIUS	石巻市雄勝町桑浜字桑浜60	循環する暮らしの体験施設	自 2015年7月18日 至 年 月 日
MORIUMIUS annex	石巻市雄勝町桑浜字桑浜60	大人向け協働宿泊施設	自 2017年1月14日 至 年 月 日
MORIUMIUS 漁村留学	石巻市雄勝町桑浜字桑浜60	モリウミアスが運営する「山村留学」	自 2021年4月1日 至 年 月 日

指標名		単位	目標値	実績値
活動指標	利用者数	人	2,550	2,247
成果指標	利用者満足度	%	80	85

管理業務に関する内容

1 施設の管理運営状況

交流人口・関係人口の拡大と地域経済の活性化への貢献

- ・地域資源を活用したマリンアクティビティや体育館活動を通じて、交流人口・関係人口の拡大を図り、地域経済の活性化に寄与
- ・SNS で施設情報・地域情報を発信し、地域への関心を促進
(インスタグラムのフォロワー：1855 人/フェイスブックのフォロワー：164 人)

地域に根ざした施設運営

- ・地域住民や関係団体と連携し、地域の公益活動に積極的に参加・協力することで、地域コミュニティの発展に貢献
- ・地域団体・漁業者との協力（ビーチクリーン：荒浜 63 人参加）

安全・安心・快適な施設運営

- ・SUP、カヤック等の器材の定期点検・修繕（全 24 回）
- ・全スタッフが JSPA インストラクター資格及び消防普通救命講習を取得
- ・清掃・点検マニュアルを整備し、日々の施設管理に活用
- ・リスク管理・救急トレーニングを実施（年 6 回）

自然環境に配慮した地域貢献型運営

- ・自然環境に配慮し、無添加のハンドソープとボディソープを使用
- ・施設周辺（道路・海岸）の環境維持（清掃、除草、植木の剪定など）を実施し、利用者の安全確保及び自然環境保全に寄与

艇庫の運営

- ・地域に貢献する持続可能な管理運営
- ・初心者向け SUP 体験会の開催
- ・安全講習会の開催
- ・経験者向けステップアッププログラムの開催

- ・マリンスポーツにおける事故防止課題解決に向け、地元住民・漁業関係者との連携協力
- ・SNS（Instagram・Facebook）を活用した広報活動
- ・屋内プールでの SUP 体験会の開催（仙台：参加者数 22 人）
- ・岩手県北上展勝地さくら祭り/SUP 体験会（参加者数 12 人）
- ・5 月 10 日～5 月 11 日アウトドアイベント出店/無料 SUP 体験会
（仙台：アウトドアデイジャパン参加者数 1,555 人）

体育館の運営

- ・多様な種目での利用促進（バドミントン、剣道、バレー、太極拳、ソフトテニス、卓球、ダンス、チアダンス、コーラス、味噌作愛好連、黒船太鼓）
- ・ギター教室の開催：17 人
- ・雄勝地区文化祭：270 人
- ・eスポーツ大会：38 人

2 施設の現状に対する認識及び今後の在り方（課題とその解決策）

本施設は、地域住民のスポーツ・レクリエーションの場としての役割に加え、海洋体験活動の拠点として一定の活用が図られてきた。一方で、利用者数や収益面においては季節変動の影響が大きく、安定的な運営には課題が残る状況である。

特に海洋体験事業においては、天候や海況に左右されやすく、実施可否の判断や運営体制の柔軟性が求められる。また、利用者の安全確保のための人員配置や機材管理には一定のコストが必要であり、収益性とのバランスが課題となっている。

加えて、地域資源（漁業・自然・文化等）との連携については、一定の取り組みは行ってきたものの、継続的かつ収益につながる仕組みとしては発展途上である。

今後の在り方としては、以下の点が重要であると考ええる。

- ・道の駅との連携による集客導線の強化（観光客の取り込み）
- ・体験プログラムのパッケージ化による収益性の向上
- ・地域事業者（漁師・飲食・宿泊等）との連携強化による付加価値の創出
- ・学校団体や企業研修等の受入拡大による平日稼働の向上
- ・安全管理体制の維持・強化と効率的な運営体制の構築

これらの取り組みにより、単なる施設利用にとどまらず、地域資源を活用した体験拠点としての価値を高めていくことが期待される。

なお、令和8年度より指定管理者が変更となることから、これまでの運営で得られた知見や課題については適切に引き継ぎ、今後の持続可能な施設運営に資することが重要である。

3 施設運営について

(1) 年間の管理運営実績

※ 事業実施報告書（別紙1）、収支決算書（別紙2）、事業実施決算書（別紙3）のとおりに

(2) 開館日数・休館日数

- ・開館日数：308日
- ・休館日数：57日

(3) 施設利用者数

体育館：1,993人（一般利用：946人、減免：1,047人）

多目的運動広場：0人

艇庫：254人

自主事業（艇庫/ビーチクリーン）：1,897人

累計：4,144人

※強風や悪天候により、予約126件（SUP/カヤック）が中止

(4) 利用者に対するサービス向上のための方策

利用者満足度の向上を図るため、安全性の確保を最優先としつつ、利用者一人ひとりの特性やニーズに応じた柔軟な対応に努めた。

海洋体験活動においては、天候や海況を踏まえた実施判断に加え、参加者の年齢・体格・経験の有無に応じて使用する道具（SUPボードのサイズ等）を選定し、事故リスクの低減と安心して参加できる環境づくりを行った。また、風向きや波の状況に応じて実施場所を変更するなど、安全かつ満足度の高い体験提供に努めた。

さらに、初めての利用者でも安心して参加できるよう、事前説明やレクチャーを丁寧に行い、不安の軽減と理解促進を図った。加えて、体験中も随時声がけを行うことで、個々の状況に応じたサポートを実施した。

施設利用においては、受付時の丁寧な対応や利用案内の分かりやすさを意識し、誰もが利用しやすい環境づくりに努めた。

今後のサービス向上に向けては、利用者の声を積極的に収集・分析し、プログラム内容や運営方法の改善に継続的に取り組むことが重要である。また、道の駅との連携により、観光客を含めた多様な利用者ニーズに対応したサービス展開が求められる。

(5) 利用者ニーズの把握やその実現策

利用者ニーズの把握にあたっては、日々の受付対応や体験実施時のコミュニケーションを通じて、直接的な意見や要望の収集に努めた。また、体験後の感想や会話の中から満足度や改善点を把握し、運営に反映するよう取り組んだ。

具体的には、「初めてでも安心して参加したい」「安全に楽しみたい」といったニーズに対し、事前説明の充実や個別対応の強化を行った。加えて、「もっと楽しみたい」「グループで参加したい」といった要望に対しては、メガ SUP の導入や複数人で楽しめるプログラムの提供を行い、多様なニーズに対応した。

また、天候や海況による不安の声に対しては、実施場所の変更やプログラム内容の柔軟な調整を行うことで、安全性と満足度の両立を図った。

施設利用においても、利用時間や利用方法に関する要望に対し、可能な範囲で柔軟に対応することで利便性の向上に努めた。

今後は、アンケートの実施やデータの蓄積・分析を進めることで、より客観的なニーズ把握を行い、サービス改善につなげていくことが重要である。また、道の駅との連携により、観光客を含めた新たな利用者層のニーズにも対応したサービス展開が求められる

4 施設管理について

(1) 施設の適正な維持管理の方策

施設の適正な維持管理にあたっては、安全性および快適性の確保を最優先とし、日常的な点検および清掃を継続的に実施した。

具体的には、施設内外の定期的な巡回点検を行い、設備の不具合や破損箇所の早期発見・対応に努めた。また、利用者が安全かつ快適に利用できるよう、清掃や整理整頓を徹底し、衛生環境の維持に取り組んだ。

海洋体験で使用する備品（SUP・カヤック等）についても、使用前後の点検およびメンテナンスを行い、安全管理の徹底を図った。

さらに、利用者の安全確保の観点から、危険箇所の把握や注意喚起を行うとともに、必要に応じて利用方法の指導を実施した。

今後については、指定管理者の変更に伴い、これまでの点検記録や管理手法、備品の状態等について適切に引き継ぎを行い、継続的かつ安定的な施設管理が行われることが重要である。

各種保守点検業務の実施：長期契約に基づき、以下の保守・管理業務を実施

- ・機械警備業務
- ・消防設備定期保守点検
- ・浄化槽の汚水処理および保守点検

(2) 地域社会に対する貢献

本施設の運営にあたっては、地域資源を活用した事業展開を通じて、地域社会への貢献に努めた。

具体的には、雄勝の海や自然環境を活かした海洋体験活動を実施し、地域の魅力発信および交流人口の創出に寄与した。また、地域住民に対してもスポーツ・レクリエーションの場を提供することで、健康増進および地域コミュニティの活性化に貢献した。

さらに、地域関係者との連携を図りながら事業を実施することで、地域内でのつながりの創出にも努めた。

今後は、道の駅との連携により、観光客の誘導や地域事業者（漁業・飲食・宿泊等）との連携を一層強化し、地域全体の活性化につながる取り組みが期待される。

(3) 経費節減のための方策

施設運営においては、効率的かつ持続可能な運営を目指し、経費節減に努めた。

具体的には、日常的な節電・節水の徹底や、消耗品の適正管理により無駄な支出の抑制を図った。また、備品については定期的な点検および修繕を行うことで、長期的な使用を可能とし、更新コストの削減に努めた。

今後は、引き続き効率的な施設運営を行うとともに、道の駅との連携による集客力向上を通じて、収益面の改善と経費バランスの最適化が求められる。

(4) 組織及び人員配置並びに従業員の雇用状況及び勤務体制

<指揮系統図>

施設管理長	—	
常勤職員	—	
常勤職員	—	

(5) 従業員の研修実績

- ・近隣インストラクターとSUP/カヤックのレスキュートレーニング実施 夏・秋：計2回

(6) 法令遵守

1. 個人情報の保護の措置について

- ・個人情報保護法を遵守して、お客様からお預かりする個人情報の重要性和社会的責務を認識し個人情報の保護のため基本方針を設定

2. 個人情報の取得について

利用者から個人情報を提供いただく場合は、利用目的を明確にした上で、目的の範囲内に限り、個人情報を収集

3. 個人情報の利用について

あらかじめ利用者から了承いただいている場合や業務を委託する場合、その他の正当な理由がある場合を除き、利用者の個人情報を第三者に提供または開示を禁止

4. 個人情報の安全管理について

取り扱う個人情報の漏洩、滅失またはき損の防止、その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を実施

5. 個人情報の第三者への提供

個人情報は、以下のいずれかに該当する場合を除いて、いかなる第三者への開示や提供

の禁止

※利用者本人の同意がある場合

※利用者個人を識別することができない状態で開示する場合

※法令等により、開示を要求された場合

※人の生命、身体または財産の保護のため必要がある場合であって、利用者本人の同意を得ることが困難である場合

※国の機関もしくは地方公共団体、またはその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合

※裁判所、検察庁、警察、弁護士会、消費者センター、またはこれらに準じた権限を有する機関から、法律に基づく正式な照会を受けた場合

6. 個人情報の免責事項

以下の場合、第三者による個人情報の取得に関し、当法人は何らの責任を負わないものとする。

※利用者自らが特定の企業に個人情報を明らかにする場合

※利用者本人またはその他の利用者が入力した情報により本人が特定できてしまった場合

※利用者本人以外が利用者の個人の識別できる情報を入手した場合

※当ウェブサイトに関連している他のウェブサイトにおいて、利用者より個人情報が提供された場合

7. 個人情報の開示/訂正等について

利用者の個人情報は、当法人が有している個人情報を、利用者のみに開示または、削除するように求めることができる。個人情報に誤りがある場合、個人情報の訂正、または削除を要求することができる。当法人は、正しい情報に訂正するか、削除の措置を、速やかに行う

5 その他

(1) 防犯・防災・安全管理の体制や対応

防犯及び防災については機械警備により対応するが、施設利用者の負傷・病気、災害等の程度と内容に応じて、警察署並びに消防・石巻市の関係各所に連絡し出動を要請するとともに、適切な避難誘導など日頃からの研修や定期的な訓練を実施し、被害を最小限に食い止めることを最優先に対応

・災害時緊急時の利用者の避難・誘導・安全確保・必要な通報等についての対応計画を作成し、緊急事態の発生時には的確に対応

(2) 災害等の非常時の体制や対応

・災害等緊急時の利用者の避難・誘導・安全確保・必要な通報等についての対応計画を作成し、緊急事態の発生時には的確に対応

- ・施設の利用者、来訪者等の急な病気、怪我等に対応できるよう、近隣の医療機関等と連携し、緊急時には的確な対応を行い、災害時や緊急時に迅速な対応ができるように連絡体制を確立

- ・避難訓練やAED・心肺蘇生法・怪我の処置法など日頃から研修や定期的な訓練を実施し、被害を最小限に食い止めることを最優先に対応

(3) 情報公開を行うための措置について

- ・石巻市情報公開制度に準じ、指定管理運営の透明性を高め、地域住民と石巻市民の信頼関係を深めるよう留意

- ・指定管理運営にあたる従業員が職務上作成又は取得した文書や運営上に用いる文書を管理保管し開示請求に対応。文書にはデジタルデータを含む

(別紙1)

事業実施報告書（令和7年度）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
施設管理業務（艇庫）	・施設の利用申請受付、許可、貸出業務 ・設備、機器等の保守管理 ・施設周辺の除草作業	5月～11月 通年 計10回実施 (4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、1月、3月)
施設管理業務（体育館・多目的運動広場）	・施設の利用申請受付、許可、貸出業務 ・設備、機器等の保守管理 ・施設周辺の除草作業	通年 通年 計9回実施 (4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、1月、3月)
情報提供業務	・SNS（Instagram・Facebook）での情報発信 ・施設情報に関する市民向けのチラシの作成・設置等	通年 通年（道の駅視上の里への設置）
海岸清掃業務	・海岸清掃業務	通年

注意

- 1 年間（年度中途から管理を行っている場合は、その中途の日から年度末まで）の実施事業を記入してください。
- 2 年度ごとに作成してください。

(別紙2)

令和7年度雄勝体育施設の管理運営に関する収支決算書

団体名：公益社団法人 MORIUMIUS

(単位：円)

項目	金額	内訳	備考
指定管理料	15,000,000		
利用料金	403,360	雄勝体育館使用料金99,560円/年 雄勝多目的運動広場使用料0円/年 雄勝艇庫舟艇使用料 303,800円/年	
その他			
収入合計 ①	15,403,360		
人件費	9,283,336	一般職員給与A 3,418,600円 (12ヶ月) 1名 一般職員給与B 2,932,368円 (12ヶ月) 1名 一般職員給与B 2,932,368円 (12ヶ月) 2名	
事務費	2,513,311	事務用消耗品、通信運搬費等、雑費等	
事業費	1,951,605	保険料、社員研修費、販売手数料、広報宣伝費、消耗品等	
管理費	1,655,108	水道光熱費、保守点検業務委託費、修繕費等	
支出合計 ②	15,403,360		
収支 ①－②	0		

注意

- 1 年間（年度中途から管理を行った場合は、その中途の日から年度末まで）の収支を記入してください。
- 2 年度毎に作成してください。

(別紙3)

令和7年度事業実施決算書

団体名：公益社団法人 MORIUMIUS

(単位：円)

事業名	事業実施決算								
	応募人数	収入①			支出②				収支 ①－②
		参加費	その他	計	講師 謝礼金	材料費 等	その他	計	
貸出業務 (体育館)	1,993	99,560	0	99,560	0	0	0	0	99,560
貸出業務 (多目的運動広場)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
貸出業務 (艇庫)	254	303,800	0	303,800	0	106,934	0	106,934	196,866
				0				0	0
				0				0	0
				0				0	0
				0				0	0
計	2,247	403,360	0	403,360	0	106,934	0	106,934	296,426

注意 自主事業を行っている場合は、指定管理業務と分けて別途作成してください。

令和7年度自主事業実施決算書

団体名：公益社団法人 MORIUMIUS

(単位：円)

事業名	事業実施決算								
	利用人数	収入①			支出②				収支 ①－②
		参加費	その他	計	講師 謝礼金	材料費 等	その他（手 数料）	計	
SUP体験	120	345,100	0	345,100	0	50,520	0	50,520	294,580
カヤック体験	14	42,000	0	42,000	0	5,894	0	5,894	36,106
SUPツアー（じゃらん）	93	430,725	0	430,725	0	39,153	71,576	110,729	319,996
カヤックツアー（じゃらん）	13	55,000	0	55,000	0	5,473	7,980	13,453	41,547
屋内プールSUP体験	22	80,000	0	80,000	0	9,262	0	9,262	70,738
屋外プールSUP体験	1,555	0	0	0	0	0	0	0	0
ビーチクリーン	63	0	0	0	0	0	0	0	0
ギター教室	17	8,500	0	8,500	21,000	0	0	21,000	△ 12,500
計	1,897	961,325	0	961,325	21,000	110,302	79,556	210,858	750,467

注意 自主事業を行っている場合は、指定管理業務と分けて別途作成してください。